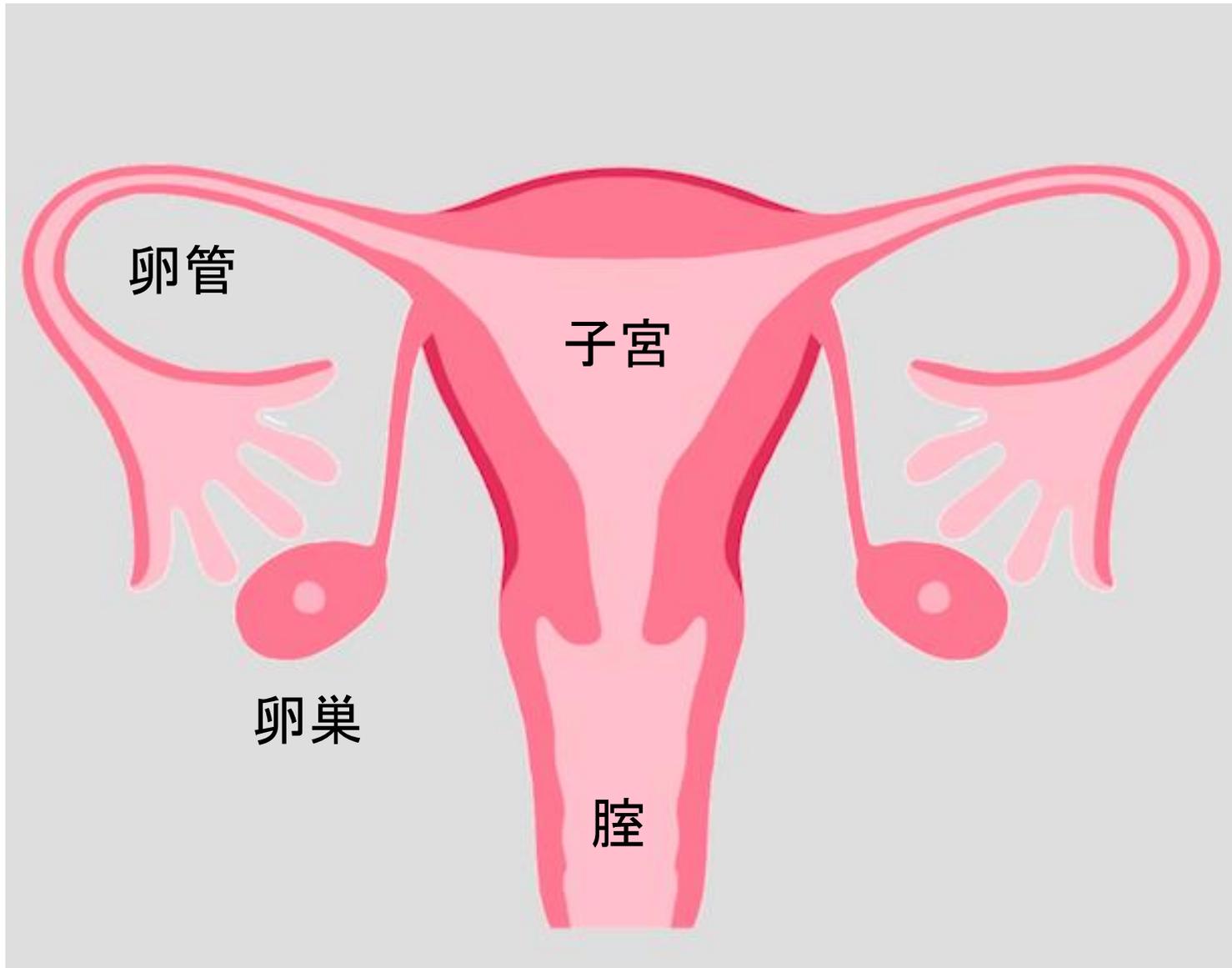


# 産婦人科診療について

産婦人科では「全ての女性」に関わる診療を行っています。

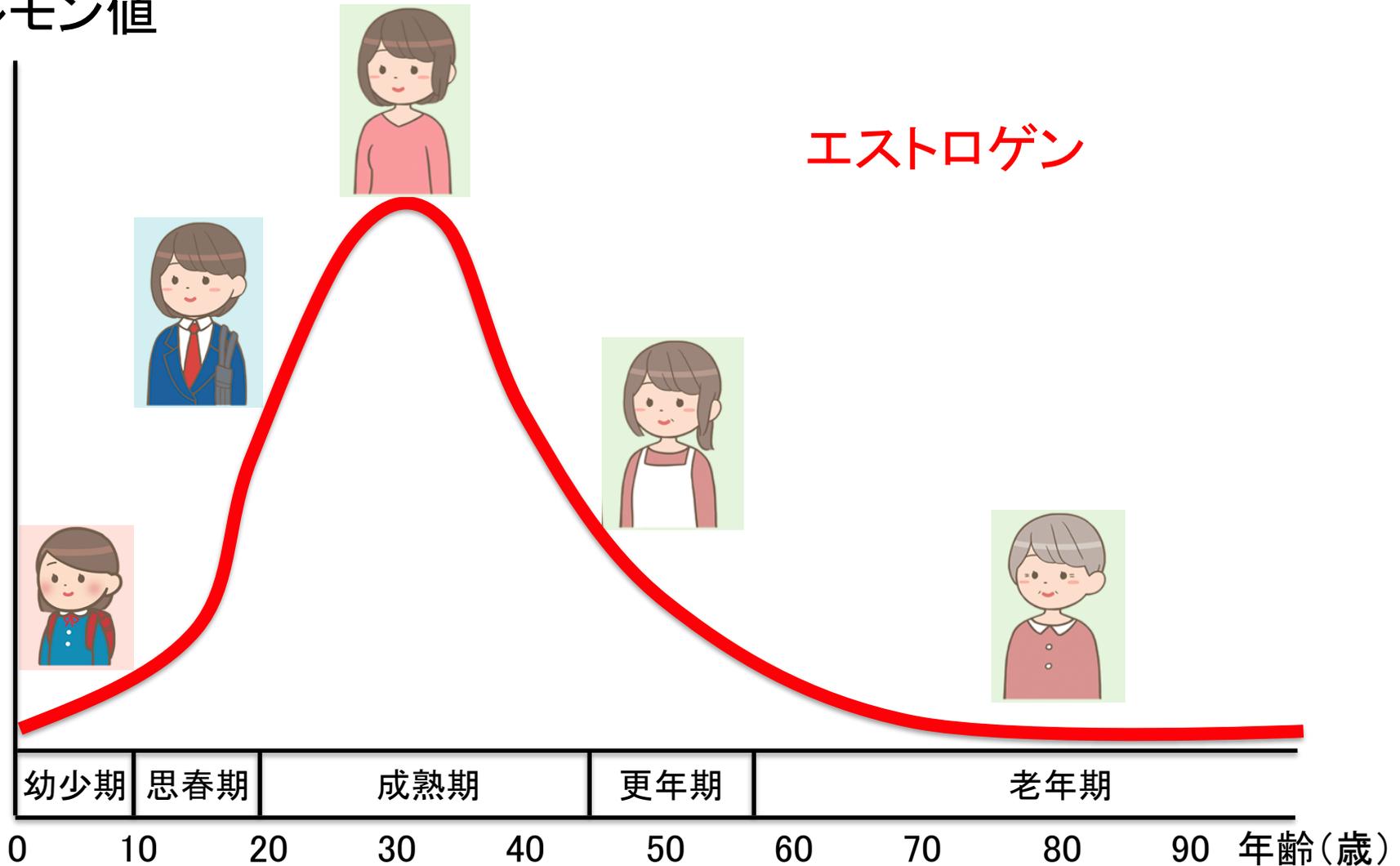


# 女性生殖器

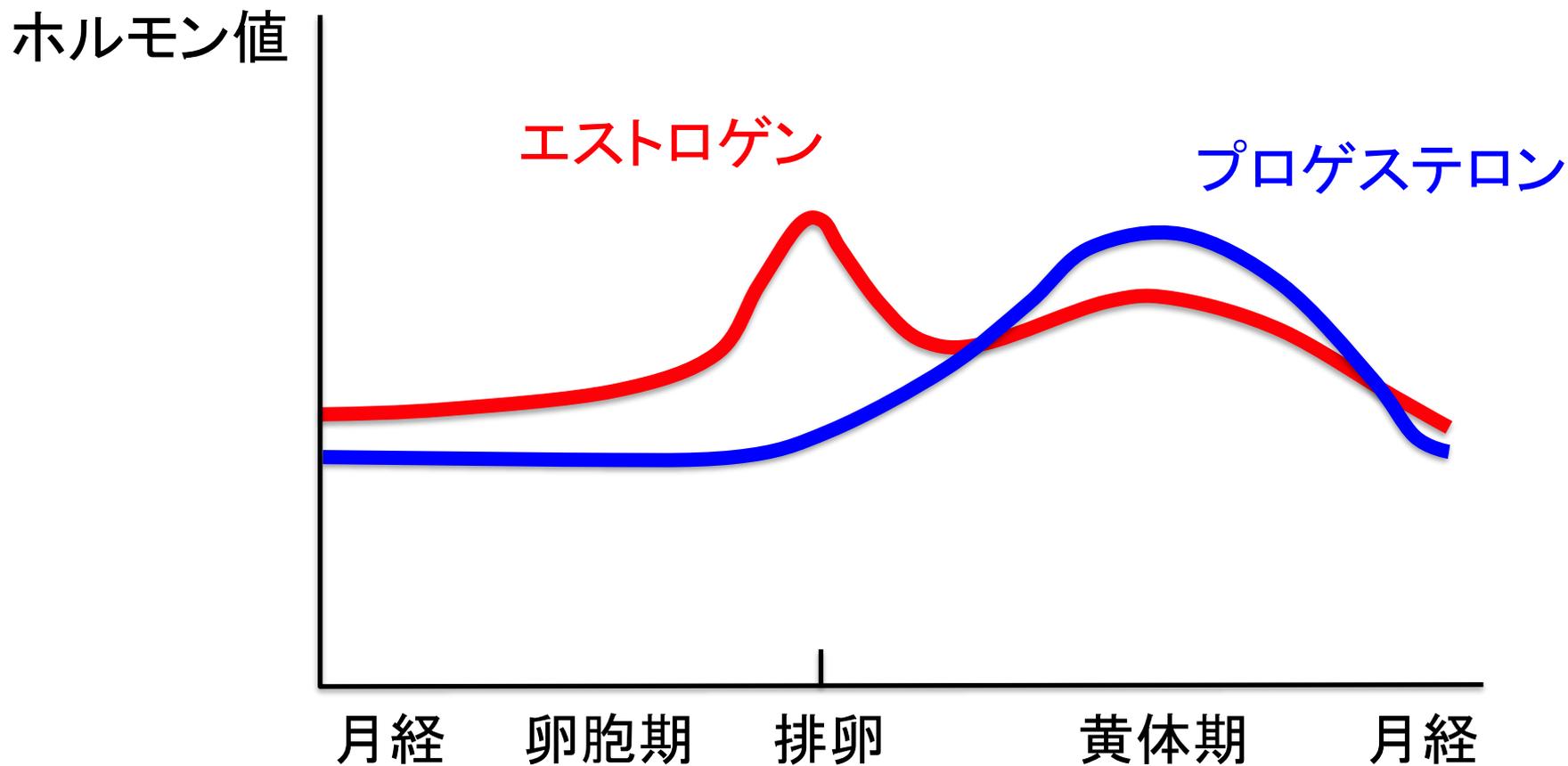


# 女性のライフサイクル

ホルモン値



# 月経周期と女性ホルモン



# 思春期



- 8～18歳頃
- こどもからおとなへ変わってゆく移行期
- 女性ホルモンによる「二次性徴」と呼ばれるからだの変化
- こころも大きく変化する時期  
周りの大人への依存と反発の間を揺れ動きながら自立してゆく時期

# 思春期に多い病気

- ・月経異常

1. 月経発来の異常
2. 月経周期の異常
3. 持続日数および量の異常
4. 月経随伴症状

# 月経異常1

## 1. 月経発来の異常

- 早発月経：初経発来が10歳未満
- 遅発月経：初経発来が15歳以上

## 2. 月経周期の異常

### ▪ 無月経

(1) 原発性無月経：18歳でも初経発来しないもの

(2) 続発性無月経：3か月以上月経が停止したもの

▪ 頻発月経：月経周期は24日以内

▪ 希発月経：月経周期は39日以上

▪ 不正周期：正常周期に当てはまらない月経

# 月経異常2

## 3. 持続日数および量の異常

- 過短月経：出血日数が2日以内
- 過長月経：出血日数が8日以上
- 過多月経：月経血量が異常に多いもの
- 過少月経：月経血量が異常に少ないもの

## 4. 月経随伴症状

- 月経困難症：月経期間中に起こる病的症状
- 月経前症候群：月経開始前に起こる病的症状

# 月経困難症

- 月経の直前から月経の終了までの疼痛症状
- 機能的月経困難症と器質性月経困難症

(症状)

- 疼痛：下腹痛、腰痛
- その他：悪心、嘔吐、下痢、頭痛

(治療)

- 薬物療法：鎮痛剤、漢方薬、低用量ピル
- 症状日誌

# 月経前症候群 (PMS)

- ・月経前3～10日間続く精神的あるいは身体的症状  
月経開始とともに軽快ないし消失するもの

(症状)

- ・精神的症状：イライラ、怒りっぽい、無気力、  
集中力低下
- ・身体的症状：腹部膨満感、肩こり、頭痛、体重増加、  
便秘、乳房緊満感

(治療)

- ・薬物療法：漢方薬、低用量ピル
- ・症状日誌

# 性成熟期

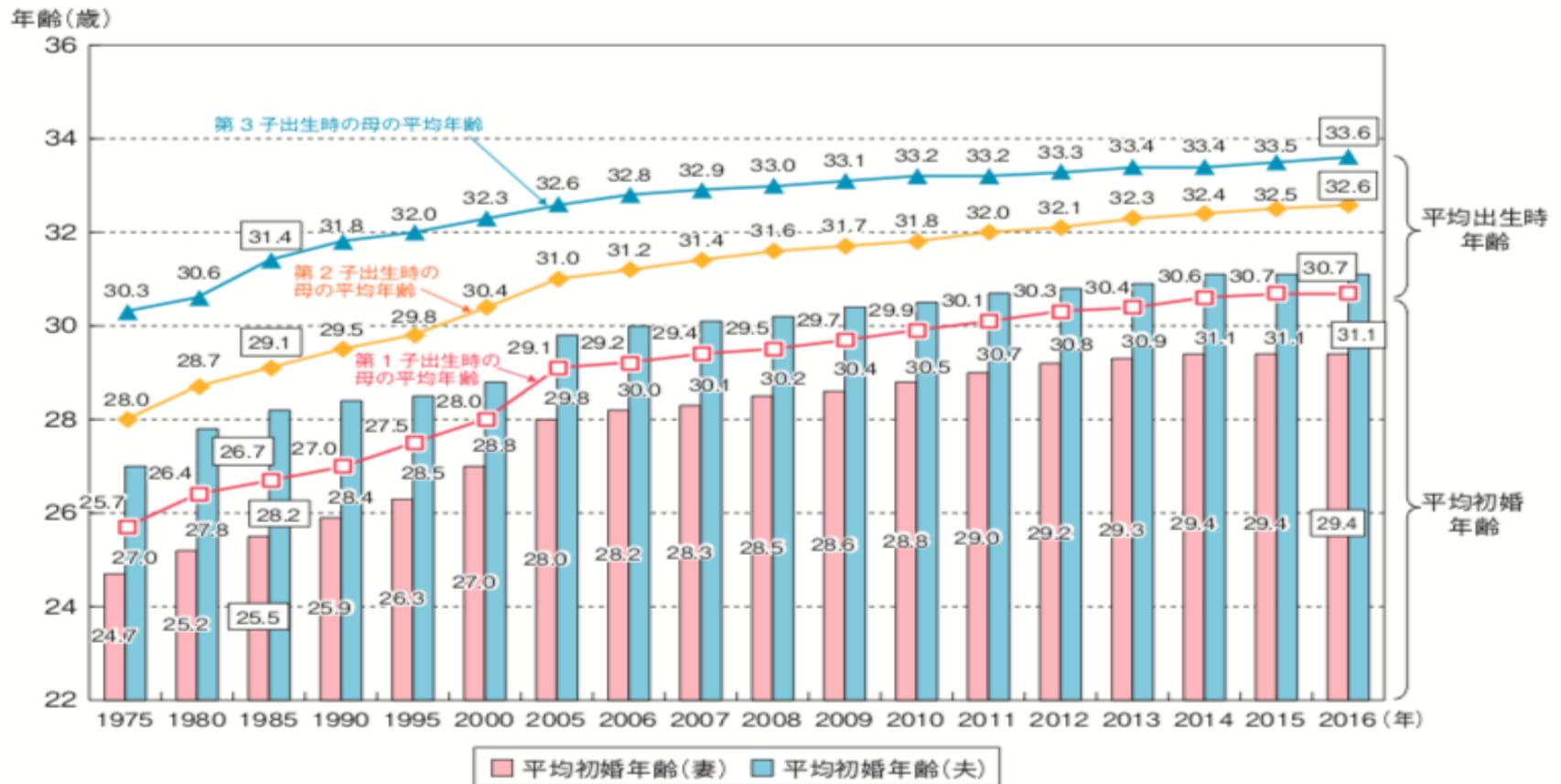


- 18～45歳
- 月経周期の確立
- 妊娠や出産に適した時期

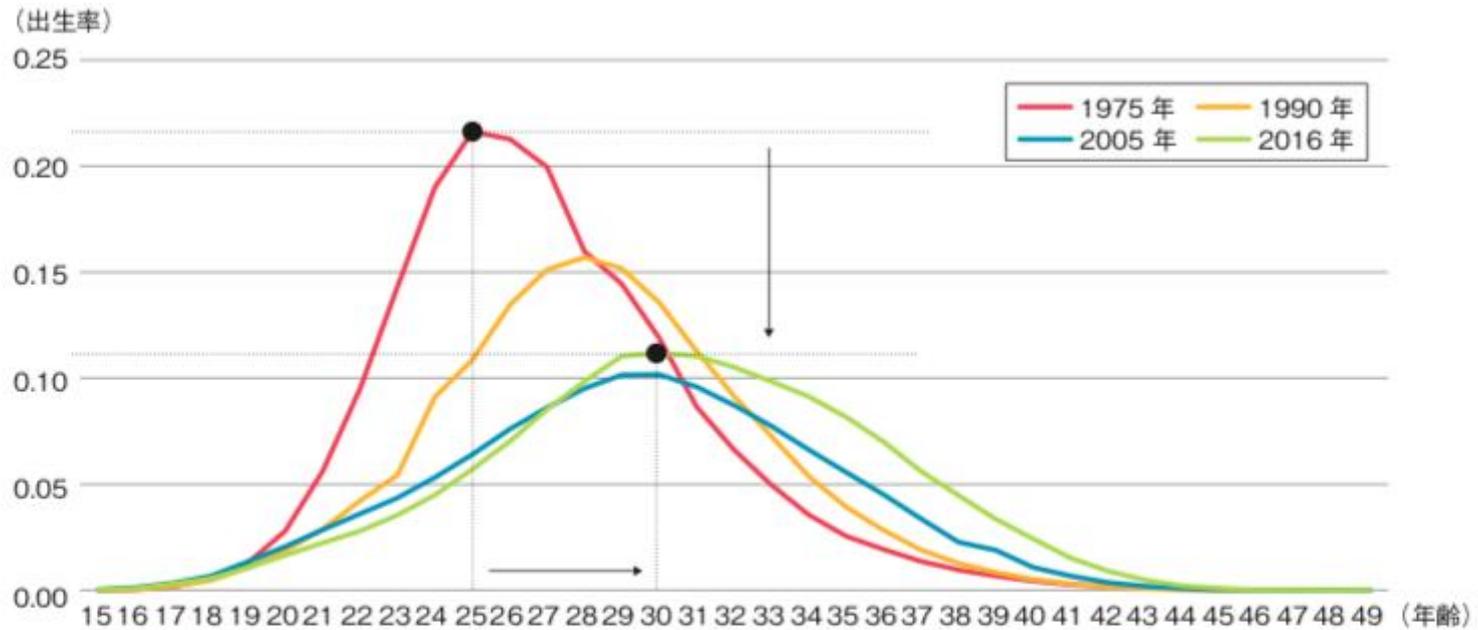
## 性成熟期に多い病気

- 子宮筋腫
- 子宮内膜症
- 不妊症
- 子宮頸がん

# 女性のライフスタイルの変化



# 女性の年齢別出生率



資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2018」を基に内閣府作成。

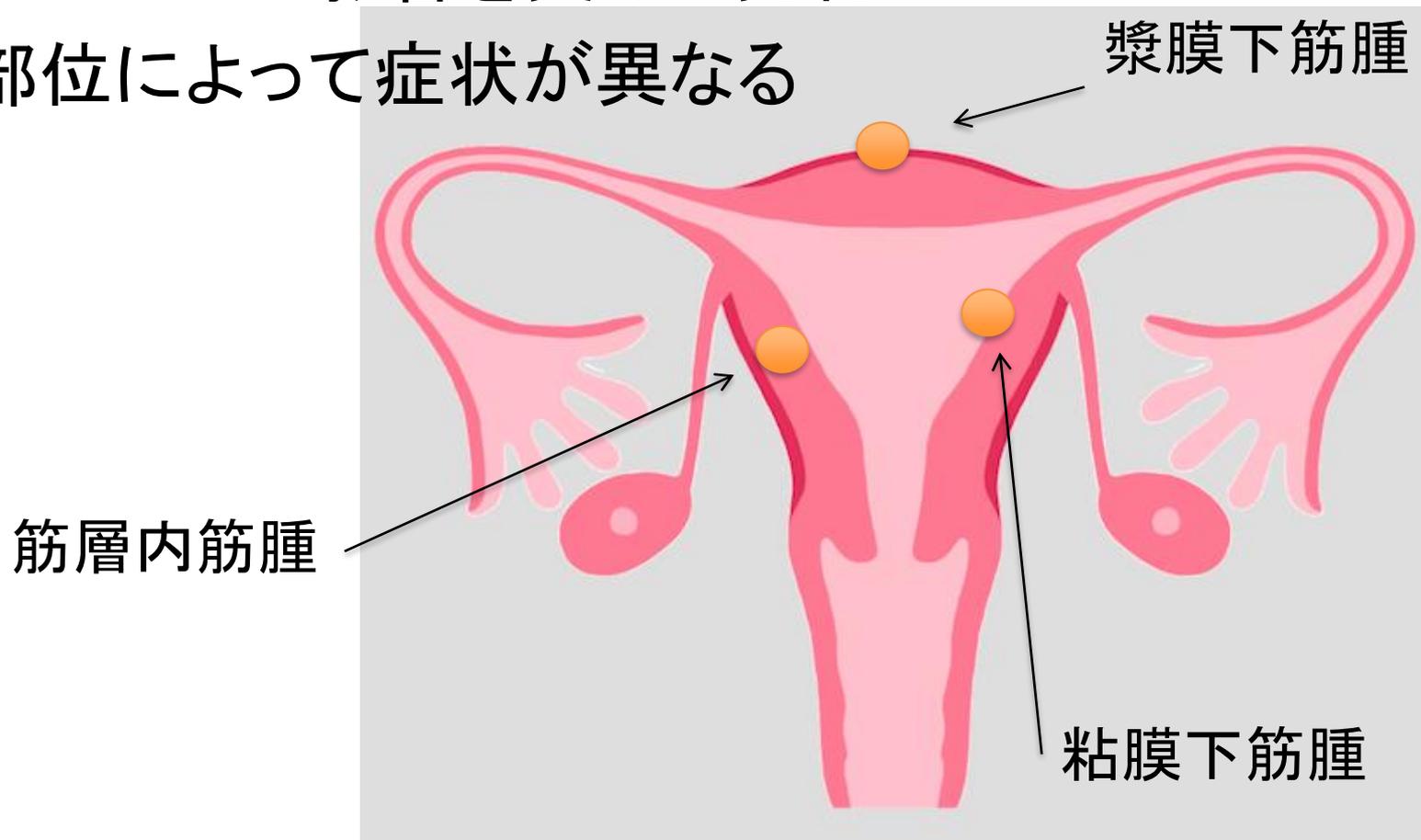
注：女性の年齢別出生率は、(各歳別)出生数の総数を(各歳別)女性人口で除したものである。

# 女性の月経回数の変化



# 子宮筋腫1

- 子宮筋層に発生する良性の腫瘍
- 女性ホルモンの影響を受けて発育
- 発生部位によって症状が異なる



# 子宮筋腫2

(症状) 過多月経、貧血、月経痛

(検査) 経腔超音波検査、MRI

(治療)

- ・対症療法：鉄剤、鎮痛剤

- ・薬物療法（GnRHアナログ）

  - ：人工的にホルモン低下状態をつくる治療

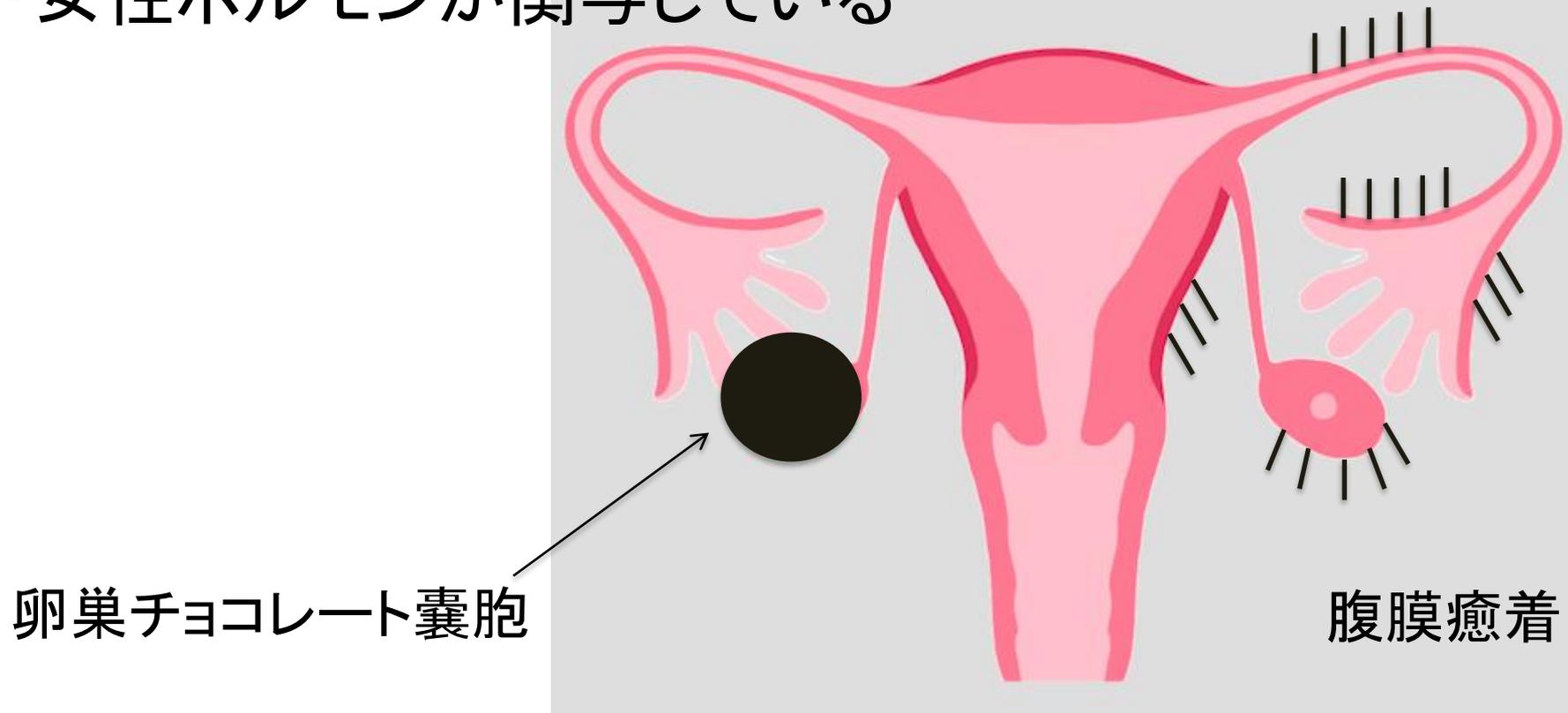
- ・手術療法

  - ：筋腫核出術、子宮全摘術

    - 開腹術、腹腔鏡手術、子宮鏡下手術

# 子宮内膜症1

- ・子宮内膜が違う場所に発生してしまう疾患
- ・腹膜、卵巣、臓器の癒着など様々な状態を起こす
- ・女性ホルモンが関与している



# 子宮内膜症2

(症状) 月経痛、不妊

(検査) 問診、内診、経腔超音波、MRI、腹腔鏡検査

(治療)

- ・薬物療法：鎮痛剤、超低用量ピル(LEP)
- ・手術療法：嚢胞摘出術、卵巣摘出術、癒着剥離術  
開腹術、腹腔鏡手術

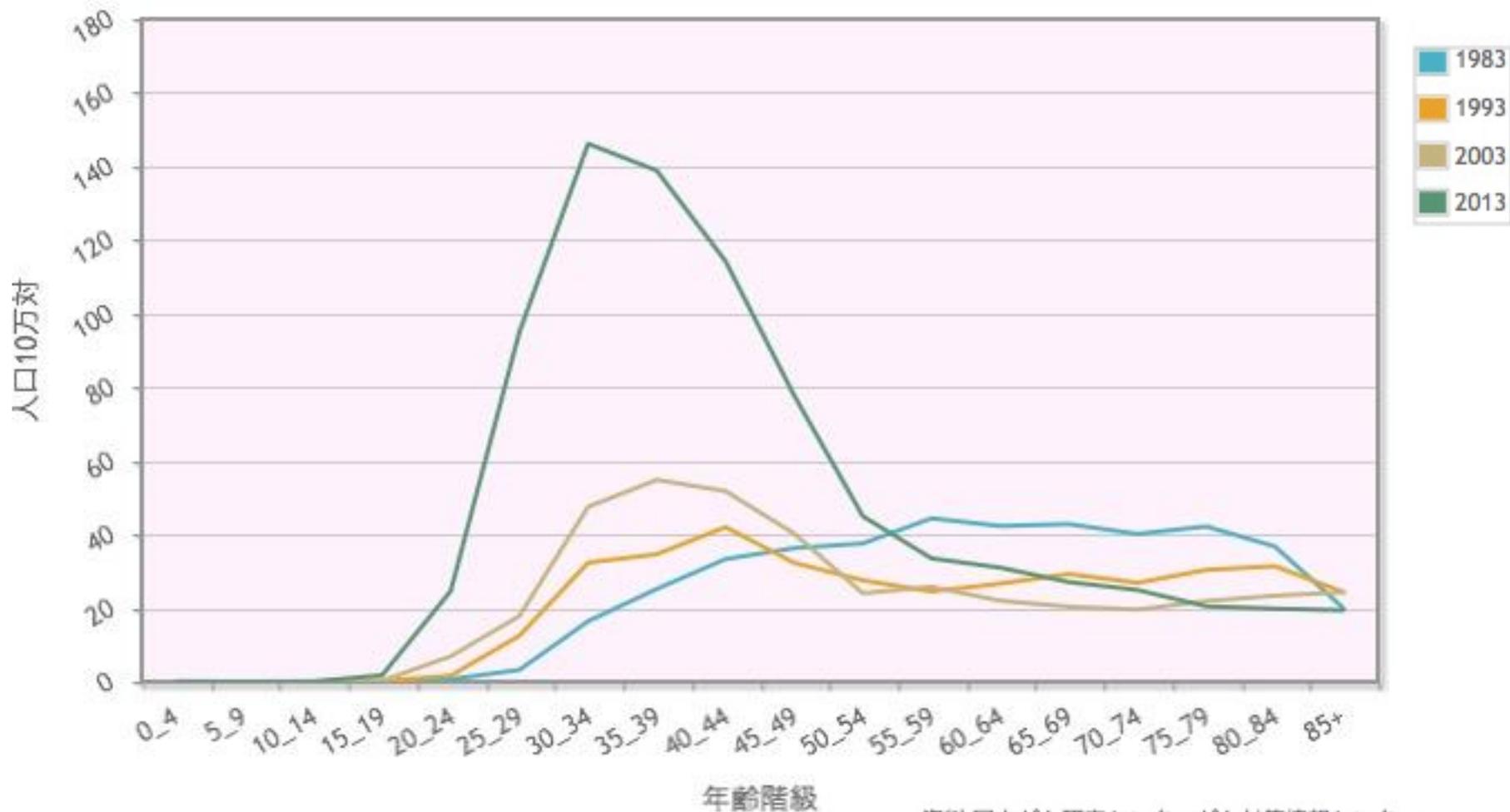
# 不妊症

## 1. 女性の不妊症の原因

- 排卵因子
- 卵管因子：性器クラミジア感染症、子宮内膜症
- 子宮因子：子宮筋腫、子宮内膜ポリープ
- 頸管因子：子宮頸管炎、粘液分泌異常
- 免疫因子：抗精子抗体
- 原因不明：卵子そのものの妊孕性の低下（加齢）

## 2. 男性の不妊症の原因

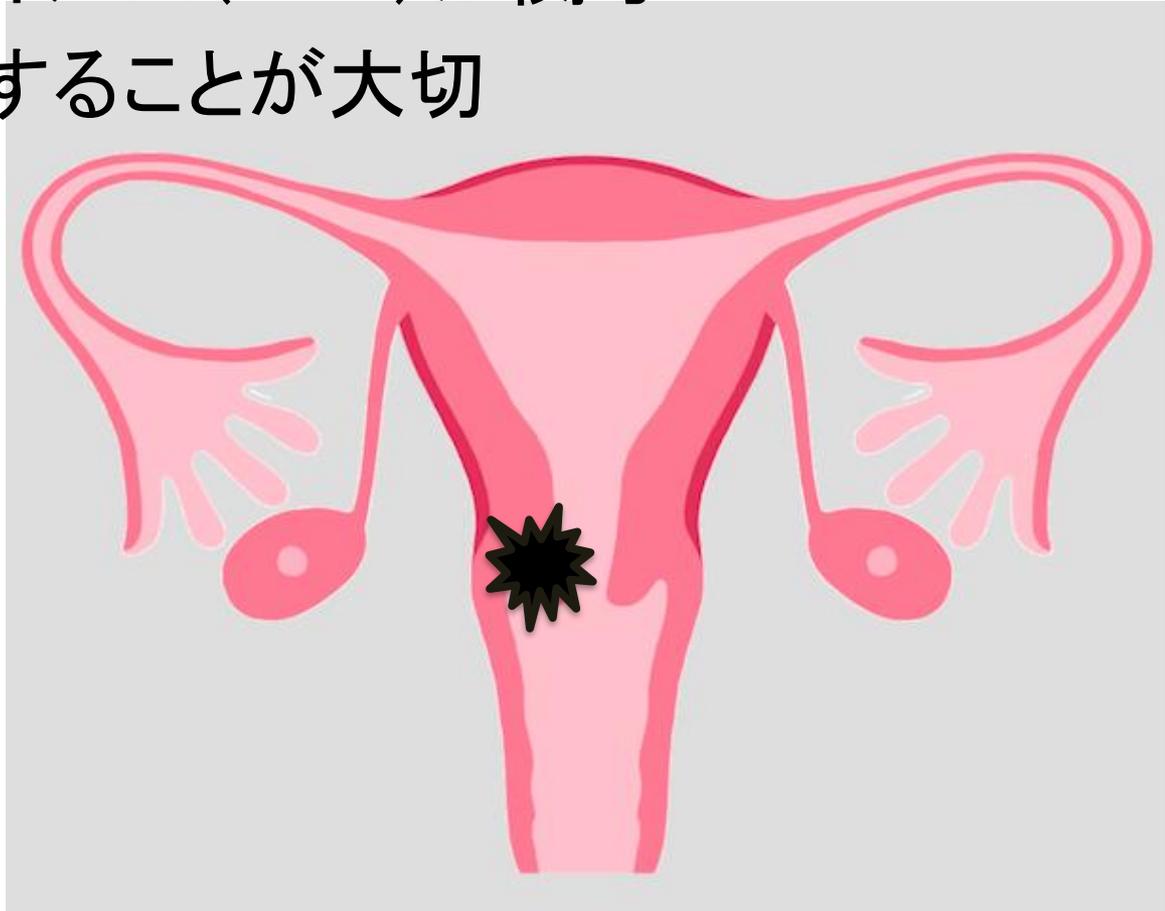
# 子宮頸がんの年齢別罹患率



資料:国立がん研究センターがん対策情報センター  
Source: Center for Cancer Control and Information Services,  
National Cancer Center, Japan

# 子宮頸がん

- ・子宮頸部に発生するがん
- ・ヒトパピローマウイルス(HPV)が関与
- ・検診で早期発見することが大切



# 更年期



- ・閉経前後5年間
- ・閉経の平均年齢: 50.5歳
- ・女性ホルモンの急激な低下が起こる

## 更年期に多い病気

- ・更年期障害
- ・子宮体がん

# 更年期障害

## (原因)

ホルモン要因：女性ホルモンの低下

環境要因：本人をとりまく家庭や社会での環境変化

## (症状)

自律神経失調症：ほてり、のぼせ（ホットフラッシュ）  
発汗、不眠

精神的要因：情緒不安定、イライラ、不安感、抑鬱気分

その他：運動器症状（腰痛、関節・筋肉痛など）

消化器症状（食欲不振など）

皮膚症状（乾燥感、湿疹など）

排尿障害、頻尿、外陰部違和感など

# 更年期障害の治療

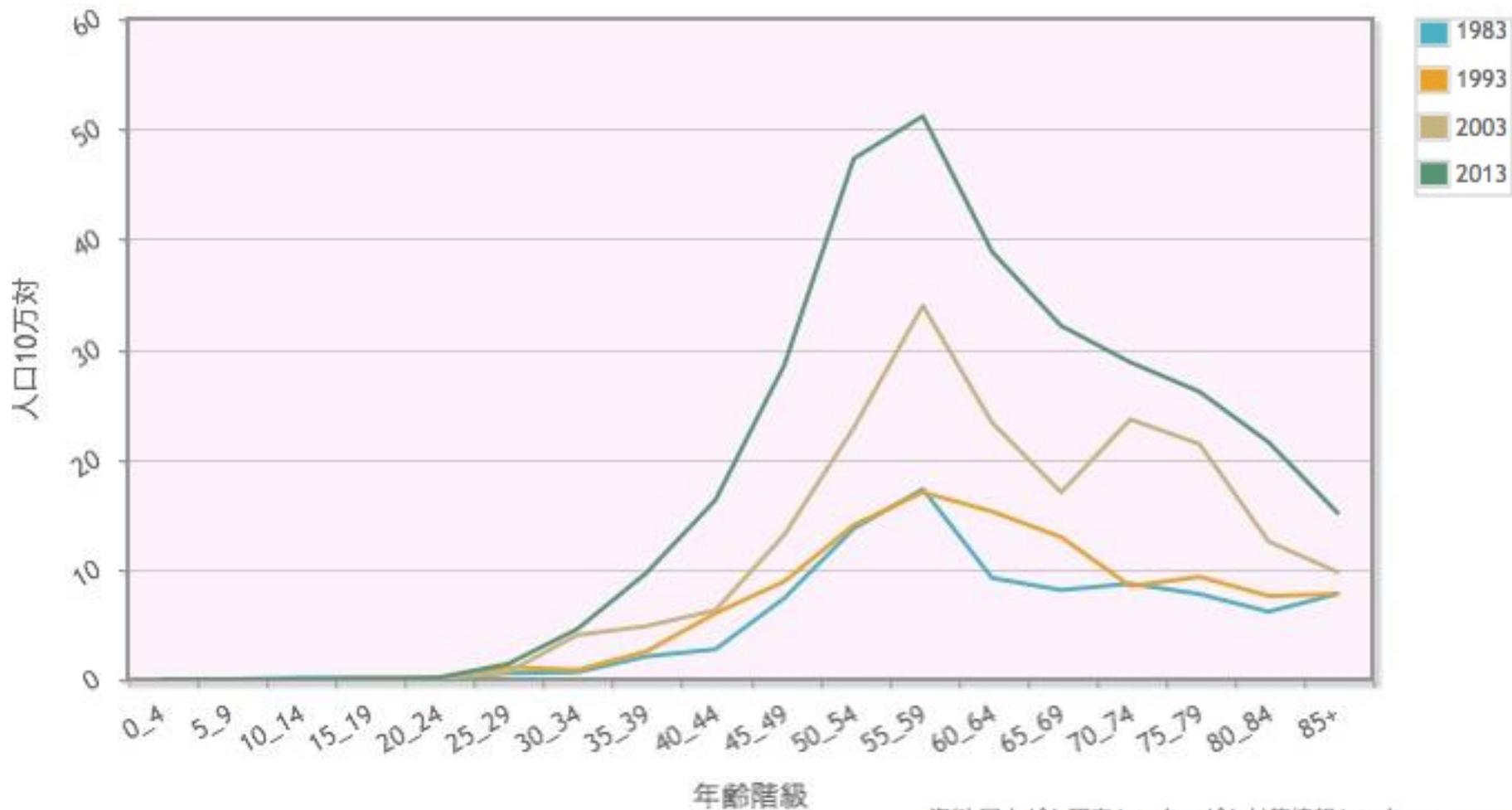
## 非薬物療法

心理療法、食事療法、運動療法

## 薬物療法

- ・漢方療法
- ・ホルモン補充療法
  - : エストロゲン(経口投与、経皮投与)
  - + 黄体ホルモン
- ・向精神薬

# 子宮体がんの年齢別罹患率



資料:国立がん研究センターがん対策情報センター  
Source: Center for Cancer Control and Information Services,  
National Cancer Center, Japan

# 子宮体がん

- ・子宮体部に発生するがん
- ・女性ホルモンが関与している
- ・不正性器出血を起こす



# 老年期



- ・閉経5年以降（平均55.5歳以降）
- ・平均寿命が80歳を超えるようになった今、老年期が長くなっている

## 老年期に多い病気

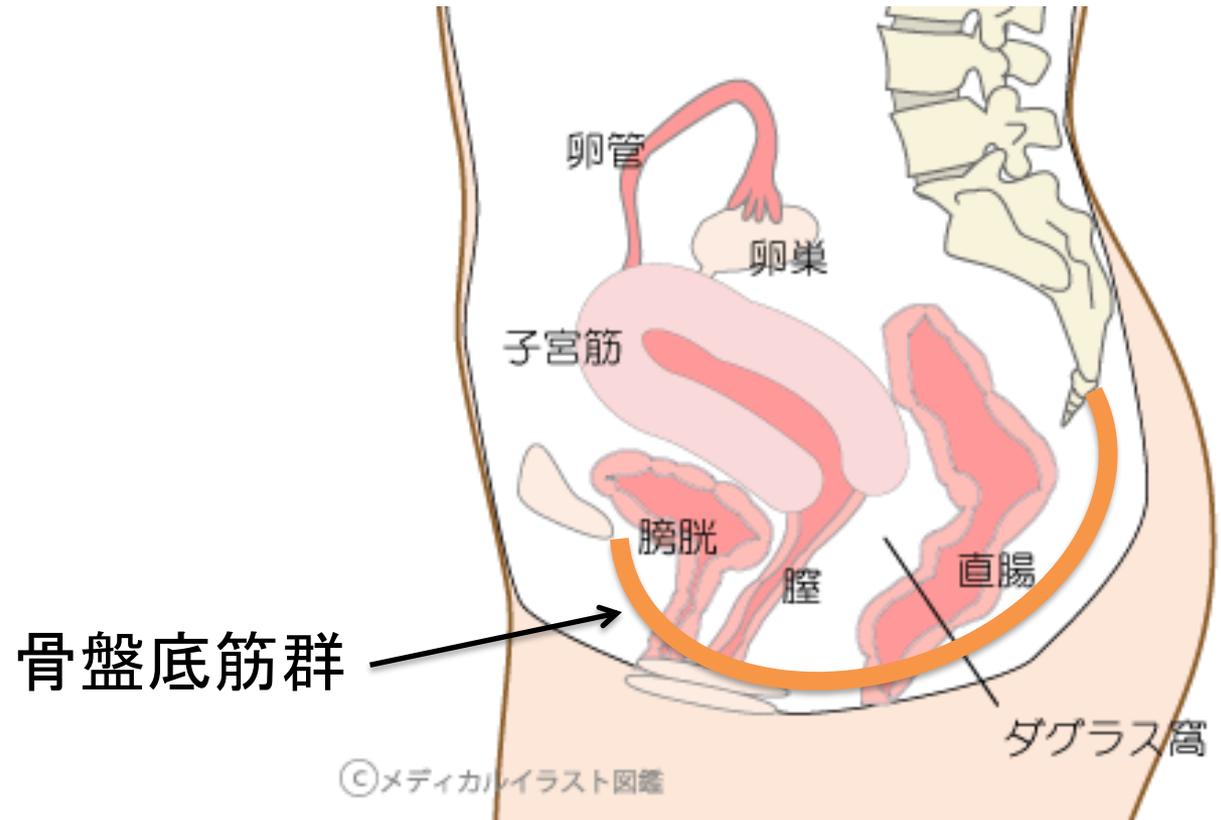
- ・骨盤臓器脱
- ・尿もれ、尿失禁

# 骨盤臓器脱1

- ・筋肉や靭帯などの支持組織が緩むことで子宮や膀胱、直腸の位置が下がる病気

(分類)

- ・子宮脱
- ・膀胱瘤
- ・直腸瘤



# 骨盤臓器脱2

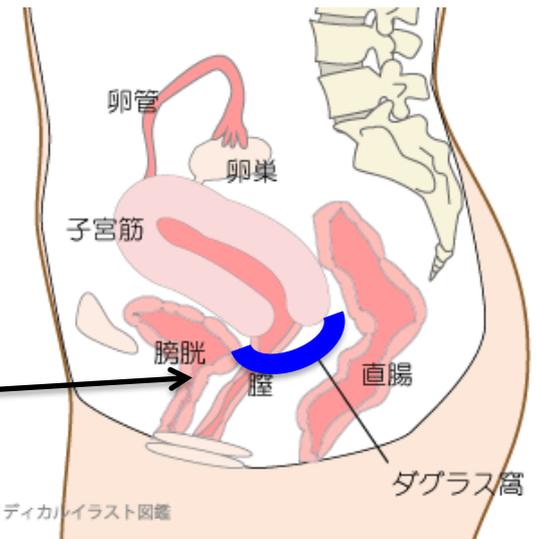
(症状) 子宮下垂感

排尿・排便困難

(検査) 内診

(治療)

- ・骨盤底筋群体操
- ・リング(ペッサリー)  
: 腔内に挿入して固定する方法
- ・手術: 腔式子宮全摘術、前後腔壁形成術



# 尿もれ・尿失禁

## (症状)

尿が不随意に漏れる

## (分類)

- ・腹圧性尿失禁：咳やくしゃみなどの腹圧時に漏れる
- ・切迫性尿失禁：尿がしたくなってトイレに行く途中に漏れる

## (治療)

- ・腹圧性尿失禁：骨盤底筋群訓練、薬物療法
- ・切迫性尿失禁：薬物療法

心配事や気になる症状があれば、  
早めに産婦人科を受診して下さい。

